



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月12日

上場会社名 日本郵政株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6178 URL <https://www.japanpost.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役兼代表執行役社長 (氏名) 増田 寛也
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役IR室長 (氏名) 鶴田 信夫 (TEL) (03) 3477-0206
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —
 特定取引勘定設置の有無 無
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	8,700,507	△3.9	708,807	2.9	390,013	△7.6
2020年3月期第3四半期	9,054,558	△5.5	688,879	7.8	422,006	7.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 3,560,664百万円(338.1%) 2020年3月期第3四半期 812,826百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	96.46	—
2020年3月期第3四半期	104.37	—

(注) 「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	297,239,064	16,063,869	4.6
2020年3月期	286,098,449	12,616,774	3.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 13,819,813百万円 2020年3月期 10,934,152百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2021年3月期の配当原資は、資本剰余金となる見込みです。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	11,360,000	△4.9	620,000	△28.3	340,000	△29.7	84.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期3Q	4,500,000,000株	2020年3月期	4,500,000,000株
------------	----------------	----------	----------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	456,635,301株	2020年3月期	456,667,501株
------------	--------------	----------	--------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期3Q	4,043,354,659株	2020年3月期3Q	4,043,227,218株
------------	----------------	------------	----------------

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式が、2021年3月期第3四半期496,100株、2020年3月期528,300株含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、株式給付信託が保有する当社株式が、2021年3月期第3四半期506,140株、2020年3月期第3四半期633,581株含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等将来に関する記述は、当社が現在把握している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成を約束するものではありません。実際の業績等は、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響、金利の変動、株価の変動、為替相場の変動、保有資産の価値変動、経済・金融環境の変動、競争条件の変化、大規模災害等の発生、法規制の変更等様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報)	8
 (補足説明資料)	
2021年3月期 第3四半期決算説明資料	

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経常収益は、郵便・物流事業セグメントが1,555,562百万円（前年同期比48,081百万円減）、金融窓口事業セグメントが955,515百万円（前年同期比50,116百万円減）、国際物流事業セグメントが564,268百万円（前年同期比77,571百万円増）、銀行業セグメントが1,313,684百万円（前年同期比44,789百万円減）、生命保険業セグメントが5,127,335百万円（前年同期比334,216百万円減）となったことなどにより、連結経常収益は8,700,507百万円（前年同期比354,050百万円減）となりました。また、経常利益は、郵便・物流事業セグメントが88,233百万円の経常利益（前年同期比32,231百万円減）、金融窓口事業セグメントが41,883百万円の経常利益（前年同期比10,232百万円減）、国際物流事業セグメントが8,339百万円の経常損失（前年同期は15,605百万円の経常損失）、銀行業セグメントが313,882百万円の経常利益（前年同期比24,627百万円増）、生命保険業セグメントが260,892百万円の経常利益（前年同期比26,915百万円増）となったことなどにより、連結経常利益は708,807百万円（前年同期比19,927百万円増）となりました。

以上の結果、連結経常利益に、特別損益、契約者配当準備金繰入額、法人税等及び非支配株主に帰属する四半期純利益を加減した親会社株主に帰属する四半期純利益は、390,013百万円（前年同期比31,992百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

資産の部合計は、前連結会計年度末比11,140,614百万円増の297,239,064百万円となりました。

主な要因は、現金預け金10,038,004百万円の増、金銭の信託2,115,522百万円の増の一方、貸出金635,257百万円の減、繰延税金資産384,612百万円の減によるものです。

② 負債の部

負債の部合計は、前連結会計年度末比7,693,519百万円増の281,175,194百万円となりました。

主な要因は、貯金6,625,982百万円の増、借入金3,657,177百万円の増の一方、責任準備金2,187,897百万円の減、債券貸借取引受入担保金1,098,614百万円の減によるものです。

③ 純資産の部

純資産の部合計は、前連結会計年度末比3,447,094百万円増の16,063,869百万円となりました。

主な要因は、その他有価証券評価差額金2,538,294百万円の増、非支配株主持分561,434百万円の増及び利益剰余金288,917百万円の増によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、2020年11月13日に公表した通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
現金預け金	53,680,384	63,718,389
コールローン	1,420,000	1,050,000
買現先勘定	9,731,897	9,672,153
債券貸借取引支払保証金	3,304,202	3,094,279
買入金銭債権	634,394	628,882
商品有価証券	31	12
金銭の信託	7,804,150	9,919,672
有価証券	191,127,051	192,114,208
貸出金	10,624,482	9,989,224
外国為替	147,469	122,248
その他資産	2,787,487	2,542,693
有形固定資産	3,186,558	3,154,496
無形固定資産	291,694	259,454
退職給付に係る資産	55,308	55,133
繰延税金資産	1,312,378	927,765
貸倒引当金	△9,043	△9,552
資産の部合計	286,098,449	297,239,064

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
貯金	181,377,859	188,003,841
売現先勘定	14,855,624	15,268,122
保険契約準備金	64,191,926	61,893,311
支払備金	461,224	402,839
責任準備金	62,293,166	60,105,268
契約者配当準備金	1,437,535	1,385,203
債券貸借取引受入担保金	6,509,525	5,410,911
コマーシャル・ペーパー	—	132,438
借入金	302,200	3,959,377
外国為替	511	532
社債	100,000	100,000
その他負債	2,820,086	2,235,004
賞与引当金	121,875	34,403
退職給付に係る負債	2,220,241	2,261,685
従業員株式給付引当金	605	304
役員株式給付引当金	984	806
睡眠貯金払戻損失引当金	80,324	75,368
保険金等支払引当金	29,722	4,658
特別法上の準備金	858,339	863,729
価格変動準備金	858,339	863,729
繰延税金負債	11,845	930,697
負債の部合計	273,481,674	281,175,194
純資産の部		
資本金	3,500,000	3,500,000
資本剰余金	4,084,763	4,085,191
利益剰余金	4,057,087	4,346,004
自己株式	△831,707	△831,661
株主資本合計	10,810,143	11,099,534
その他有価証券評価差額金	295,671	2,833,965
繰延ヘッジ損益	△291,823	△224,957
為替換算調整勘定	△89,698	△93,781
退職給付に係る調整累計額	209,860	205,050
その他の包括利益累計額合計	124,008	2,720,278
非支配株主持分	1,682,622	2,244,056
純資産の部合計	12,616,774	16,063,869
負債及び純資産の部合計	286,098,449	297,239,064

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
経常収益	9,054,558	8,700,507
郵便事業収益	2,052,823	2,086,852
銀行事業収益	1,356,644	1,312,419
生命保険事業収益	5,461,523	5,127,323
その他経常収益	183,566	173,913
経常費用	8,365,678	7,991,700
業務費	6,183,986	5,879,973
人件費	1,929,521	1,858,243
減価償却費	220,232	214,375
その他経常費用	31,939	39,107
経常利益	688,879	708,807
特別利益	20,914	9,143
固定資産処分益	2,811	3,946
負ののれん発生益	48	—
特別法上の準備金戻入額	9,835	—
価格変動準備金戻入額	9,835	—
移転補償金	406	1,040
受取補償金	—	1,795
事業譲渡益	6,245	—
その他の特別利益	1,569	2,361
特別損失	9,871	29,994
固定資産処分損	2,203	1,946
減損損失	1,408	10,875
特別法上の準備金繰入額	—	5,389
価格変動準備金繰入額	—	5,389
老朽化対策工事に係る損失	3,685	2,075
その他の特別損失	2,573	9,707
契約者配当準備金繰入額	81,314	68,523
税金等調整前四半期純利益	618,608	619,432
法人税、住民税及び事業税	196,659	168,494
法人税等調整額	△64,722	△10,550
法人税等合計	131,936	157,943
四半期純利益	486,671	461,489
非支配株主に帰属する四半期純利益	64,664	71,475
親会社株主に帰属する四半期純利益	422,006	390,013

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	486,671	461,489
その他の包括利益	326,154	3,099,175
その他有価証券評価差額金	438,665	3,031,080
繰延ヘッジ損益	△74,619	75,203
為替換算調整勘定	△3,624	△2,568
退職給付に係る調整額	△34,262	△4,534
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△5
四半期包括利益	812,826	3,560,664
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	641,146	2,986,273
非支配株主に係る四半期包括利益	171,680	574,390

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

保険契約に係る不適正な募集行為及びその背景にある態勢上の問題が認められたことにより、2019年12月27日、当社及び当社の連結子会社である日本郵便株式会社は、総務大臣及び金融庁より保険業法等に基づく行政処分を受け、当社の連結子会社である株式会社かんぽ生命保険は、金融庁より保険業法に基づく行政処分を受けており、策定した業務改善計画の実行を経営の最重要課題として位置付け、当社グループをあげて取り組んでいるところであります。併せて、株式会社かんぽ生命保険の保険契約のすべてのお客さまに対して、ご意向通りの契約となっているか確認し、お客さまに不利益が生じている場合は利益回復を行っております。

当第3四半期連結会計期間において、お客さまの不利益を解消するための保険料の返戻や保険金のお支払いを保険金等支払金等（業務費等）に、対応する責任準備金の調整額を責任準備金戻入額等（生命保険事業収益）にそれぞれ計上しており、その純額19,972百万円を前連結会計年度末の保険金等支払引当金より取り崩すとともに、ご契約調査の進展等を見積りに反映したことによる減少額5,091百万円を戻し入れております。その結果、当第3四半期連結会計期間末における保険金等支払引当金は4,658百万円となりました。なお、これら保険金等支払引当金の取り崩し及び戻し入れの金額は、四半期連結損益計算書上、生命保険事業収益に含まれております。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他	合計
	郵便・ 物流事業	金融窓口 事業	国際物流 事業	銀行業	生命保険業	計		
経常収益								
外部顧客に対する 経常収益	1,524,412	132,936	564,117	1,312,419	5,127,323	8,661,209	35,810	8,697,020
セグメント間の 内部経常収益	31,150	822,578	150	1,265	12	855,156	154,417	1,009,574
計	1,555,562	955,515	564,268	1,313,684	5,127,335	9,516,366	190,228	9,706,595
セグメント利益 又は損失(△)	88,233	41,883	△8,339	313,882	260,892	696,553	109,815	806,368

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. 「その他」の区分には、報告セグメントに含まれていない宿泊事業、病院事業等が含まれております。また、「その他」の区分のセグメント利益には当社が計上した関係会社受取配当金(97,209百万円)が含まれております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	696,553
「その他」の区分の利益	109,815
セグメント間取引消去	△93,240
調整額	△4,320
四半期連結損益計算書の経常利益	708,807

(注) 「調整額」は、国際物流事業セグメントのセグメント損失の算出方法と四半期連結損益計算書の経常利益の算出方法の差異等によるものであります。